

---

# 山梨大学教育学部附属教育実践総合センター

## センターだより第147号(通巻第214号)

---

2016年9月26日 発行  
山梨大学教育学部  
附属教育実践総合センター  
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790  
E-mail: jissen@ml.yamanashi.ac.jp  
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

※このセンターだよりで紹介した研究会, 研修, 教育フォーラムに関するお知らせは, 改変しない限り, 自由に複写, 配布していただいて結構です。

### ■ 平成28年度「第1回連携・教育研究会」のご報告

平成28年9月13日(火)に, 山梨県総合教育センターにおいて, 第1回連携・教育研究会を開催しました。この会は, 教員養成や教員研修に関わって, 山梨大学と山梨県教育委員会(山梨県総合教育センター)がそれぞれの「強み」を生かして連携し, 双方の成果を上げようという研究会です。

全体会では, 昨年度の反省を踏まえた中で, 今年度の研究の方向性等が確認されました。また, センター研究(主事研究)については, 全体テーマ「学校教育を支援する実践的研究 ～確かな学力の育成を目指して～」のもと, 主事研究とプロジェクト研究に取り組むことが確認されました。

プロジェクト研究では, 「学力把握調査」「教育課程実施状況調査」を分析し, 学習の定着状況を明らかにし, 授業改善プランの作成を通して本県の学校教育における学習・指導方法の改善・充実と確かな学力の育成に寄与する研究を進めていきます。また, 主事研究では, 教科指導・教育相談・特別支援教育における指導の改善・充実に関わる研究を進めていきます。

全体会後の各分科会は, 主事研究の内容と今後の取り組み等について協議が行われました。山梨県総合教育センターにおける主事研究への支援に関わって, 大学側からは今年度は以下の教員が参加をします。



附属教育実践総合センターからは, 松森靖夫センター長, 小林大教授, 藤田博康教授, 成田雅博准教授, 中澤勇三客員教授, 窪島紀人客員教授, 一瀬孝仁准教授が, そして, 大学院教育学研究科からは, 教育支援科学講座の鳥海順子教授, 教育実践創成講座の服部一秀教授, 言語文化教育講座の田中武夫教授, 芸術文化教育講座の大内邦靖准教授, 生活社会教育講座の志村結美准教授が参加します。

双方の「強み」を生かして互いに連携し, 山梨の教育の益々の発展に寄与できればと思っています。

## ■ 教育実習期間中のメンタルサポートについて

後期教育実習期間において、心理的・精神的なメンタル面での不調などに対する臨床心理士による面接相談等を通じてのサポートを行いました。前期実習期間と同様に、実習生へのカウンセリング相談や、指導担当教諭らに対するコンサルテーションなどを通じて、無事、教育実習を乗り切った実習生も複数いました。

## ■ 山梨県教育委員会十年経験者研修「山梨大学セミナー」の開催

本センターは山梨県教育委員会との連携事業として十年経験者研修「山梨大学セミナー」を開催しています。今年度は教育学部の他に、生命環境学部、障害学生就学支援室のご協力を得て8月5日（金）に開催され、教職十年目の200名を超える先生方が受講されました。研修内容は以下の通りです。

「国産ワインと発酵食品について」（生命環境学部 柳田藤寿先生）

「障がいのある方の雇用について」（障害学生就学支援室 森屋直樹先生）

「音楽とパウル・クレーの作品の関連について」（教育学部 小島千か先生）

「発達の遅れや偏りをどう支えるか？」（教育学部 鳥海順子先生）

## ■ 教育実践総合センター研究紀要「教育実践学研究」第22号原稿募集

平成28年度教育実践総合センター研究紀要「教育実践学研究」第22号の原稿を、下記要領により募集いたします。多くの方々からの、教育実践学研究の推進に資する論文の投稿を、お待ちしております。なお、この5月に、附属教育実践総合センター刊行内規と附属教育実践総合センター執筆要項が改訂されておりますので、投稿される方はご一読ください。

### 1. 投稿申込について

#### (1) 申込資格：

(a) 教育学域、教育学研究科教員、教育学部教員（附属学校園教員・非常勤講師を含む。）及び退職者（ただし、本学部等に在職時の研究に関する発表のみ可）。

(b) 教育学域、教育学研究科・教育実践総合センター客員教授、研究員及び研究協力者。

(c) 教育学研究科所属の大学院生（大学院生は指導教員等の承認が必要です）。

(d) その他、センター研究紀要編集委員会が認めた者。

(2) 申込締切：平成28年9月29日（木）

(3) 申込方法：以下の項目について記したメールを [jissen@ml.yamanashi.ac.jp](mailto:jissen@ml.yamanashi.ac.jp) 宛てに送ってください。

☆ 申込者の氏名と所属

☆ 共著者全員の氏名と所属

☆ 指導教員名（筆頭著者が大学院生の場合）

☆ 論文題目

### 2. 原稿提出について

(1) 提出締切：平成28年10月27日（木）

(2) 提出方法：

☆ 図表・写真等を含む原稿のすべてをメールまたはCD、USBメモリー等により提出してください。

☆ 図表・写真は各々別ファイルにしてください。

☆ 論文全体のレイアウトのわかるプリントアウトを1部提出してください。

(3) 提出先：

☆ 提出メールアドレス：jissen@ml.yamanashi.ac.jp

☆ CD、USB メモリー、プリントアウトの提出：教育実践総合センター事務室  
(J424・内線 8325)

### 3. その他

(1) 刊行規程や執筆要項、原稿作成要領については教育実践総合センターの Web ページ

<http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

にある「センター出版物」－「センター研究紀要」－「投稿案内」を御覧ください。

(2) 締切を厳守してください。

(3) 原稿の体裁など、編集委員会より修正をお願いすることがあります。

(4) 不明な点に関しては jissen@ml.yamanashi.ac.jp に御相談ください。

(5) 研究紀要は、pdf ファイルによるセンターWeb 公開と、掲載論文の概要等を印刷した研究紀要概要リーフレットの配布が行われますが、印刷された冊子はつくられません。

(6) 抜刷印刷をご希望の方は、論文著者の経費で承ります。

以上

## ■ 教育相談室に関するお知らせ

「教育相談室 (L-428)」及び相談室の備品をどうぞご利用ください。「教育相談室」のご利用に際しましては、事前に附属教育実践総合センター事務室 (J 号館 4F) にて空き状況を確認の上、ご予約ください。火曜日は附属教育実践総合センターが優先的に使用させていただきます。鍵は J 号館 1 階支援課にあります。利用された場合には、相談室内に置かれた使用簿及び報告書の記載をお願いします。

教育相談室の心理検査やソーシャルスキルを高める児童・生徒用のゲームなど備品も貸し出しております。借りる際には必ず使用ノートにご記入をお願いします。

---

これまでのセンターだよりの一部は、 <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/centerdayori.html> で見ることができます。